

《担当者名》○八木こずえ [co-yagi0913@hoku-iryo-u.ac.jp]  
宮地善子 [miyajih@hoku-iryo-u.ac.jp]

## 【概要】

精神看護の代表的な看護理論や病態や障害の特徴に応じて適用される諸理論を理解し、精神保健上のニーズを満たすための援助技法を学ぶ

## 【学修目標】

1. 臨床場面で遭遇しやすい精神病態や障害の援助に役立つ理論的基盤を理解する。
2. 対象者の全体像を描き、精神保健福祉上の問題を理論を用いて説明する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	精神看護学と援助理論	精神看護で活用される援助理論を概観し、背景や全体像を理解する。	八木
2 ) 3	対人関係論の看護論 1) 対人関係論と意義と位置づけ	看護における対人関係論の成り立ちや意義、位置づけについて学ぶ	八木
4 ) 5	2) オーランド・ウィーデンバックの理論	オーランド・ウィーデンバックの看護理論の特徴や内容、実践の指針について学ぶ	八木
6	3) トラベルビー・ペプロウの理論	トラベルビー・ペプロウの看護理論の特徴や内容、実践の指針について学ぶ	八木
7	精神看護学とセルフケア理論 1) オレムの理論	オレムによるセルフケア理論の成り立ちや内容、意義について学ぶ。	宮地
8	2) アンダーウッドの理論	オレム理論のアンダーウッドによる精神看護への修正内容と看護実践の指針を学ぶ	宮地
9 ) 10	3) セルフケア理論による看護介入の方法	1回目：セルフケア理論の基礎的知識を学ぶ 2回目：事例を用いたセルフケア・アセスメントと看護介入について検討する	宮地
11	精神力動理論 1) 精神力動論の変遷と主な理論	精神力動論の成り立ちと変遷。防衛や自我の発達と病理、主な理論家の理論など基礎的知識を学ぶ	八木
12	2) 治療的介入に必要な知識	面接過程で出会う抵抗や転移・逆転移と治療的介入について症例を通じて理解する	八木
13	統合失調症の看護理論 1) 阿保の精神構造モデル	統合失調症の病態に沿った看護介入を導く精神構造モデルを理解する。	八木
14	2) 回復過程と看護介入の方法	回復過程の特徴を理解し、アセスメントの指針を学ぶ。回復に応じた看護介入について理解できる。	八木
15	3) 事例による看護モデルの理解	精神構造モデルを用いた事例をプレゼンテーションし、アセスメントと援助を議論して考察を深める。	八木

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

プレゼンテーション（30％）、討議への参加（30％）、課題レポート（40％）で評価する。

**【教科書】**

指定しない。適宜資料を配布する。

**【参考書】**

- 1、 宇佐美しおり・野末聖香編集:精神看護スペシャリストに必要な理論と技法.日本看護協会出版会.2009.
  - 2、 筒井真優美:看護理論家の業績と理論評価.医学書院.2015.
  - 3、 阿保順子:精神科看護の方法 患者理解と実践の手がかり.医学書院.1996.
  - 4、 阿保順子:急性期統合失調症マニュアル.すびか書房.2004.
  - 5、 阿保順子編著:精神科救急・急性期ケア.精神看護出版.2011.
  - 6、 中久喜雅文:力動的精神療法入門.岩崎学術出版社.2014.
  - 7、 松木邦裕:対象関係論的心理療法入門.金剛出版.2016.
- その他随時提示する。

**【学修の準備】**

講義内容の理解を深めるために、精神看護に関連の深い看護理論について、関連する文献を事前に読んで準備をする。統合失調症の精神構造論の理解を深めるために事例分析を行うので、プレゼンテーションの準備を行う。